

設立 20 周年 代表よりご挨拶

創業以来 20 年間こうしてやってこれたのも皆様のご支援のお蔭であり、本当に感謝致しております。一言ご挨拶をさせて頂きたいと思えます。

過去を振り返るには、まだ若いですし諸先輩方を前に恐縮ですが、少し振り返らせて頂きたいと思えます。

私は学卒来貿易会社に 13 年間程勤めた後、独立をさせて頂きました。その間に私が出会った商材で将来性を感じるものは、今の主力商品の転写紙だけでした。

この商材に初めて出会ったのは、今から 27 年前でした。週刊誌のカラフルな表紙を印刷したものが、カラーコピー機から出てきて、それがそのまま T シャツにプリントされたのが凄くセンセーショナルでした。

その後、前に勤めていた会社で結婚直後、首をかけてこの転写の道に切り出しました。対象になるカラーコピー機自体が世の中に殆ど無い時代に 3 年間程寝食を忘れる位働きました。その後、34 歳でその会社を退職することになり、今の会社を 1 人で興しました。

初年度の売上は、500 万円で使った経費が 1,000 万円でしたので大赤字でした。その頃は別の商材の輸入綿糸の方がまだ元気でしたので、そちらで生計を立てておりました。

それが翌年には 4,000 万円、また 1 億、2 億と業績が拡大致しました。今では大手のプリンターメーカーさんが T シャツ用プリンターを出してくる程に T シャツプリントが認知されてきました。本当にこの商材に出会えて幸せ者でした。聞くところによりますと、来年は驚くような新製品が後発の大手メーカーさんから出てくるようです。

過去を振り返るのはこれ位にしまして、今後の展望のお話を少しさせて頂きたいと思えます。皆様ご承知のようにプリンター、特にインクジェットの進化が目覚ましく、何にでも印刷できるかようになってきています。その中で装置だけに頼るようでは駄目だと私は思っています。

ここ数年前までオリジナルプリント T シャツが珍しかった時代が、今は飽和状態になりつつあると思えます。今後も従来からの私共の立ち位置であるトナー用の転写紙を中心に、使える消耗品を拡充してパイオテックならではの特色を少しでも多く出して参りたいと思えます。

これから厳しい局面もあると思えますが、お客様とより綿密に情報交換をさせて頂きながら、社業に励んでまいりたいと思えますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

2015 年 11 月吉日

代表取締役 村田正浩